

桜川文芸

俳句

【桜川市岩瀬「萩」俳句会】

腕の貝ひとつ開かぬ広島忌

鈴木 たか子

雲の峰仰げば杳き己が見ゆ

小林 啓治

網元の名残りの蔵に夏つばめ

萩原 勲彦

五戸渡す一枚石や曼珠沙華

藤田 凡鐘

遺すものもうなき齡露の草

小林 フク

湖よりの涼風を呼ぶ釣忍

三代 みちよ

水羊羹姉亡きあとの母と居て

若色 寿美女

墓薙ぎに集ふ一族朝曇

仁平 房女(※)

梅干の匂ひ垣根をくぐりけり

金田 とう女

草刈って村が大きくなりけり

渡辺 いし

朝焼けの肌さす日ざし河童の忌

入山 ひろ子

コンピネの袋片手に秋立ちぬ

上野 吉江

捨て畑の夏草気にし寝付けぬ夜

永瀬 ちい

問診に即答出来ず吾亦紅

細谷 充女

迎へ火や夫の遺影は若きまま

萩原 きしの

【茂山俳句会】

汗の目に火の色読みて窯を守る

海老沢 静夫

童顔の戦死の遺影盆が来る

服部 海童

草いきれ碑の文字薄れゆく

君島 真理子

逆あがり子の目に迫る夏木立

笠倉 陽子

生きているうちはちやほや甲虫

植田 祥雲

夾竹桃咲かせて村に人見えす

井坂 洋子

勤労の奉仕は遠し草いきれ

吉原 秀子

夏帽子滴のままに干されをり

鶴見 菊江

豊目につまづく素足八十路ゆく

宮本 芳江

父母逝きて年月遠し盆来る

松崎 いま

草いきれゴムの草履のとかげ色

泉 健作

草いきれ凭るものなかりけり

鈴木 ノブ子

したたかに生きて米寿や緑濃し

大関 くに

淡々と合歓咲き母を恋ふるなり

竹林 てる

襖絵の虎の牙剥く夏座敷

向後 礼子

蜻蛉生まれ水との対話始まりし

田崎 信子

蠅帳も蚊帳も識らずに三代目

飯山 昭

【一般投稿】

前向きに凜と生きたし余生かな

大山 しげ

俚謡

【さくら俚謡会】

萩の花咲く俺らの田舎父の手打ちのそば

の味

つく志 輝美

桜川市は天災知らずイネは豊作みな笑顔

岩瀬 きみ子

祝う敬老何んにもいらぬ明日も元気で飲

めりやよい

田 哲人

※仁平房女さんは8月16日逝去されました。

2010年新市町村振興宝くじ **オータムジャンボ史上最高額** 1等・前後賞合わせて **2億5千万円!** 売れ切れしだい **発売終了!** 9/27日発売 **1枚300円** ●発売期間/9月27日(月)~10月19日(火) ●抽せん日/10月26日(火) この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。宝くじは、ぜひ茨城県内でご購入願います。 財団法人 茨城県市町村振興協会